日報

●一ヶ年…
●廣告料　五號活字十九字詰一行一回五十錢
●特別廣告全…
●本報目價　一部…一ヶ月八角　半年四元八角　全年九元六角
●告白刊例　一行五號十九字一日者每行五角　登長期價目面議
發行所　營口新市街　滿洲日報社　電話…一一

●●●●●●●貴冑學堂の近況　兩宮は新軍機大臣載[illegible]を召見せられ貴冑學堂の近況を垂詢せらるに該王は奏對して本學堂辦理の各事未だ盡く適法を得るに至らざるも馮國璋事教育に於て頗る心得あり各學員も亦心を盡して敎を受くるの有樣なり唯各[illegible]だ盡く貴冑の習ひを去る能はず云々と[illegible]

支那美術比較（[illegible]）

加藤正義氏の漫遊談

●●●●●漆器は我特技　の樣に思はれる支那あたりでも堆朱堆黑とか或は金泥を塗たものなどの漆器類は之なきにあらざるも日本の如く幾重にも漆をかけ其中に金箔を塗り込んで更らに之を研ぎだす所の蒔繪に至つて殆んと日本の特技である埃及なぞにも一二種の漆器を見出ざるには非ざるも殆んど比[illegible]かに日本人獨[illegible]ぶ國はない樣に思は[illegible]玉の原料に富んで居るの[illegible]の固いものに精巧な彫刻を[illegible]美術品を製作する技能と根氣と[illegible]は到底他國民の企及ぶべからざ[illegible]あるダイヤモンドなど云つて見ても其品位に於て餘程の差がある樣に思る實玉類に於ては恐らく支那が第一位であらう

●●●次は建築　であるが此點に就てはも印度が第一であらうと思ふ隨分古い建築も殘つて居るが千年以上も經つたものは寺院が古代の帝王及有名な人の廟で彼の地方に見る岩窟である岩窟と云へば[illegible]日間もあると思る位に岩石より成る山を穿つて拵へられたもので天井其他凡てには各種の彫刻を施こし圓柱の如きは[illegible]を圓柱大に刻り拔きたる一見驚くばかりの結構である五六百年前ばかりの宮殿[illegible]然と殘つて居る其の規模の廣大なる今日歐洲各國の宮殿で一として之と比肩するものはなからうと思ふ壁や何かに各種の石を嵌めて寄木細工的のもので裝飾しある所や石に精巧の彫刻をしたもので目星しき[illegible]飾つて在る工合など實に手の入つたものである熱帶地方の事とて或ひは巧に夜間の空氣を蓄へ置いて晝間の熱さを避け[illegible]に縱横に水を引入れ潺湲たる清音に[illegible]拂ふ等の設備至れり盡せりてある特に扉が一枚の大理石で出來て居るなど規模から云つても其の工事の點から云つても建築に掛けては印度を世界第一に推さねばならぬ

[illegible]器等各種の美術に關する氏の談話を[illegible]と欲する情切なりしも郵船會社の樓上室に於ての對談にて其間に二三の來客あり各種の用務を持ち掛け頗る多忙に[illegible]れば他日を約して歸れり

●世界叢談

●●●米國の最大偉人　米國スクラップ、ブック記者は同國知名の人士三十一名に就き歷史中最も模範とするに足る偉人を[illegible]んとを求めたるに孰れの回答も皆アブラハムリンコーンを以て第一と爲さゝるなく[illegible]頓は僅に一票の差にて第二位を占め次くはベンジャミン、フランクリンに十八票其次はトマス、ジェファーソン十二票アレキサンダー、ハミルトン及びエマーソンは各十票ウリシースグラント九票ルーズヴェルト八票ロングフェルローは二票エヂソンも同しく二票にしてロックフェルラーは一票なりしと

▲倫敦旅館宿泊人の國籍　昨年の統計に據れば同年間に倫敦の諸旅館に於ける宿泊者は英人一人に就き外人二人の割合にして其國別は宿泊者百人に就き英人三十四人米人三十九人佛人十人獨乙人九人白耳義人一人和蘭人一人濠洲人一人他は一人以下なりと云ふ

▲壓搾空氣使用の自動鋸　米國カリフォーニア州マック、ラウド河木材會社にては森林にて伐採したる木材を一定の長さに切斷するため今回新たに發明せられたる自動鋸を使用することとなりたるが這は恐らく此種の器械を山林にて使用する嚆矢なるべしと云ふ此鋸は壓搾空氣を蓄へたるタンクを置き護謨の管を通じてピストンを動かし以て木材に裝置したる鋸を動かむしる仕掛にして之を使用するには人夫九人を要し一日の費用二十五弗にして一日に十二万五千乃至十六万呎の木材を切斷し得べく人力に依るに比し一日少なくとも十七弗の利益ありと云ふ

▲一本十圓の卷煙草　此程倫敦の煙草博覽會にウエストエンドの一煙草商店より出品したるはハヴアナの葉卷煙草は一箱二百五十圓（二十五本入）なりしか實際斯かる高價の煙草を常用する人も少なからざる由なり

日誌

○六月十八日　▲暹羅公使松方正作赴任▲式部職子爵綾小路有長薨去▲橫濱米穀取引所にて五品株の賣買中止せらる

○六月十九日　▲東京米穀取引所株主總會を開く▲配當年貳割▲京都東洋[illegible]會社解散すべしといふ▲奈良大佛殿の修繕豫算總計六十四万圓

日報俳壇

夏雜吟　櫻碗子

明易き空蹴り行くや飛脚笠
短夜の旬や寢按摩の繪に題す
俳優の化粧洗ひは明易き
汐待つて寢ぬ明易さかゝり舟
鎌研て明易き夜の間もあらす
徘諧のさびしみ叩く水鷄かな
ほうとして庵主水鷄を聞て居り
豆腐挽く音と竹田の水鷄かな
老の身に遠耳立ちて水鷄かな
尾を採て游ぎも足らぬ金魚哉
櫻を洗ふ水澄む家の金魚かな
金魚餌をあのこのつくる翁哉
口あいて來る提燈や蚊喰鳥
川空に蝙蝠消ゆるはやち哉
旅戻り炊くもひとり蚊喰鳥

▲夏季雜題〆切なし

快男兒

第三回　渡邊默禪

父の言葉に涙含みて、閑かに聞き居たる娘のお琴は、ホッと吐く太息と共に顔を擡げ「ハイ、お諭しの趣きは、一々心に刻みつけまして、忘れぬ樣にいたしまする。したがお父さま、万一落城の折には、籠城に出た、ソノ御一言ばかりは、お言葉を返す樣で恐れ入りまするが、餘り勝手我が無さ過ぎる樣に存じられます。」それは又何[illegible]

故に「妾しとても武士の家に生れた身でござんする、假令纖弱い女子でこそあれ怨み重なる薩長の奴輩に御城內を踏み荒されながら、その儘ノメ〳〵と落ると申すのは、如何にも殘念で御座いまする、豫々お父さまからお習ひ申しました薙刀の一手は、個樣な時にこそ役に立てなければ、敎はり申した甲斐が御座いません、敵はぬまでも戰の場所へ斬り込んで、男子輩のお手助をいたしたう存じますが、切せて是だけはお許し下さいます樣お願ひ申します」と、雄々しくも言ひ出づるその面に活きて躍らむやうなる健氣の覺悟の溢れて見ゆるに野尻權右衛門は流石に我が子と、得意にも頷かるゝを左り氣なく包みかくし「是れはしたり異な事を云ふ、女子らしくもない和子如き生兵法が何の手助けにならう、成程城內に仕慣れて、永世我が君のお惠を受けた身であるから、むざ〳〵敵に此の城を奪はれ、

お傷はしくも殿を始め奉り、御簾中樣、若の事であれば、決して野尻家の[illegible]殿樣までが御殿を後方に落ちのびて御座るやうな所業もいたすまい[illegible]といふ悲しい瀨戸際に、我身ばかりを後生[illegible]いて、何をいたして居るか、[illegible]大事、尻に帆かけて逃竄するのは如何にも[illegible]忍びん大鋸、假令自害をいたしても、やはり[illegible]か一歩も引くものか、おのれヤレと勇み立ち[illegible]つのは、和女一人ばかりでは[illegible]一家中七[illegible]千人の老若男女、皆同じ心であらうが、[illegible]に少々の[illegible]はあつても、軍の驅引を根から[illegible]辨へん女づれが、刃物三昧の小癪な振舞を[illegible]をいたりし[illegible]何の役に立たう、[illegible]道理がない、況て薩長其他の奴輩は[illegible]ことを一向に心得ん猪武者ばかり[illegible]

以て、左樣な事は思ひ止まつう」と、叱るが如く打消され、お琴は強ひて抗らふ氣勢も挫けて、無念の涙を啜るのみ、野尻權右衛門は更に後妻の菊代に向ひ「菊、今申し聞た通ぢや、身共の亡き後はお手まへが引受けて、万事宜しい樣に計らつて呉れい、賴みますぞ「ハイ決してお案じ下されまするな何事が御座いませうと、妾しがお引受け申しまして、疎略のないやうに屹と取捌きまする、お心置きなく御出陣遊ばしませ」と、打ち萎れたる氣色なり「ム、それを聞いて安堵いたした、殊に此の琴の身の上は、一人の心添をいたし呉れやれ、緣組の約束から、引き續いて祝言の運びに取掛らうといふ矢先、思ひがけない今度の戰騷ぎぢや、それゆゑ未だ聟殿には、染々內輪の話しをいたす暇とても無かつたが一家中にても、匹のない若者、文武の道に秀でた上、賴母しい精神を持ち居る男

[illegible]長春より凡そ南滿鐵道沿線に於ける我滿洲日報の讀者は其日の新聞を其日の中に看るを得べし

……佛國の一二港を訪問する筈なりしも其後期日を變更したる結果目下の處佛國訪問は未定となれり、併し過般日佛協約の發表あり外交上特別の關係を生じたるを以て或は又々航程を變更して佛國ツーロン港に寄港することとなるべ……

……度に於て國庫補助金を交附すべき意向なり……は有力な……の旨趣を……

膠州灣稅關の解決

過般清獨間に決せられたる膠州灣關稅に關する主なる項は左の如し

一、外國原料品及び清國條約港より輸出する原料品に賦課する輸入稅及び沿岸稅は其の原料品を以て製せられたる製品の輸出に對しては拂戻を受く但右は輸入に際し稅關に對して製作の上再び輸出を爲す旨屆出を爲したるものに限る

二、獨逸保護領域に於て作製せられたる製品にして海路より清國に輸入する場合には輸入に對する稅率の金額に從ふ

三、各種の製品輸出開始せらるゝに至らば直に原料品……出づべし

●滿洲交涉問題（上）

日清兩國間懸案中の各種問題は概して之れを中央及び地方の兩部に區別するを得べし甲は林公使と清國外務部の間に於ける交涉案件にして鴨綠江森林問題の如きは則ち是……れなり乙は奉天を始め哈爾賓等の總領事等が從來趙將軍に對し談判し來りたるものにして滿洲問題として知られたる幾多の交涉事件は則ち是れなり今右地方に屬する諸問題中奉天駐在の萩原總領事と今回新任の徐總督との間に近く交涉を開始すべき重なる問題の內容及其經過を聞くに大要左の如し

▲蓋平問題　蓋平漁業公司黃某が租借地內に居住せる清國人を謀殺したる不法事件に對する清國の主張は元來自國民相互の間に起りたる事件なるが故に清國自ら之を處分すべく何等日本政府の干涉を受くべき理由なしといふに在れども我租借地內に居住する清國人に對しては日本政府之を保護するの義務あるは勿論なれば其の租借地外に於ける行動に就きても適法に之を庇護するの權利を保留せざるべからず且此の問題の解決は向後頻々發生すべき同一事件の先例を作るものなれば根本的に之を決定し置かんといふか我政府の方針なれば被害清國人屍體の引渡及び賠償金等の請求は今回の談判にも依然强硬に提出せらるべし

▲製鹽輸出問題　清國は製鹽の賣買を官業と爲せるにより關東租借地產出の製鹽を無稅にて滿洲內地に輸入せん乎鹽價は之か爲に攪亂されて官業の目的を達する能はざるに至らむ左れば迚我製鹽の輸入を絕對に禁遏するは到底不可能事だるを以て兩國間に穩當の協定を爲して彼我の便宜を圖らんとするは我政府の素志にして既に清國に向ひ之か協商を求めたるに清國は協定の成るを待たずして屢々我製鹽を沒收するのみならず解決の手段として我關東州一帶の製鹽全部の買收を申込みたるか如きは一方に於ては不法を敢てし一方には言ふべくして行ふべからざることを强ふるものなれは我は清國に對し相當の關稅又は代償を支拂ひて我製鹽自由輸入の途を開くの外別に之か解決の方法なかるべしと思惟せらる

▲中立地帶配兵問題　中立地帶に於ける兩國軍隊の配置は双互に對手國政府の承諾を經由すべき筈なれは清國は我政府の承認を乞ひて配兵し得るか如くに我國亦清國政府の承諾を求めて配兵をるを得べし要は唯承諾を得るに在るのみ左れは今回清國政府か無斷に配兵したるは我政府の默過すべき所ならざるも露國の遼東半島占領當時に於ても之と同一の先例あるを以て清國政府にして我に一應の挨拶をも爲さゞりし粗漏を謝し更に我か同意を求むるに於ては我は必ずしも之か撤回を要請するに及ばずと……る當局者間の意見なれは多分は此以て落着を見るべき歟

●遼陽外要埠開放聲明

……遼陽鳳凰城……六……開放に關し清國外務部は去る二十八日駐北……各國公使館に對し公然の通牒を發したるとは我奉天電報の報する所なるか清國政府は右通牒と同時に齊古塔、琿春、三姓、愛琿、海拉爾をも開放すべきことを申明したる由にて東三省總督徐世昌氏亦翌廿九日を以て我奉天萩原總領事に對し公然開埠の義を聲明したりといふ

●北滿稅關協定

北滿洲に於ける稅關設置の遲延すべからざる事は在北京本邦代表者より絕えず清國外務部に注意を與へつゝあるとは屢々記載せる所なるが去廿一日外務部尙書那桐は兩部代理公使に對し本件は露國公使と數回の會議を經て略妥協を遂げ同公使より本國政府の訓令を請ふこととなりたれば近々落着すべき見込なりと語り旨其筋へ報告ありたりといふ

●伐木會社抗議　安東縣に清國人の經營に成る二箇の伐木會社設置されたるを以て我が總領事より抗議を申出でたりといふ

●滿洲郵務交涉　清國總稅務司ロバート、ハート氏は滿洲郵便事務に關し日露兩國公使と談判すべき命令を受けたりと

●奉新線運賃低減　新奉鐵道は此程從來の運賃を三割方引下げたる結果奉天營口間に於て南滿線に比して每一噸約二圓（通貨の差額とも）方割安となれり同線は又其の軌道を新民屯以西同樣の廣軌に改造する事を急ぎ居れりといふ

●奉天の馬車鐵契約　日清合辦の奉天市內馬車鉄道雙方の契約調印成りたるを以て引續き許可の筈なりと傳へらる

●副都統廢止　徐總督は東三省の副都統を全廢せんことを奏請し既に裁可を經たりと傳へらる

●滿鐵のホテル事業　南滿鐵道會社附帶事業の一なるホテル事業は着々進捗し大連ホテルは不日開業の運びにて調査役上田恭輔氏の上京は全く其爲なりと稱せらる又最北部なる停車場に設置すべき長春ホテルも最早計畫熟したるに據り是れ亦不日工事に着手すべしと

●齊々哈爾近況　齊々哈爾城內には尙露兵一個中隊駐屯し居れり▲程巡撫を始め部下の官吏は皆々日本人の不利を謀るため在留邦人は早く領事の派遣を待ち居れり▲齊々哈爾停車場より城內まで四十五清里間の輕便鐵道布設は獨逸人受負へり

●營口輸入綿布の減少　清國綿布の營口を通過するもの昨年は從來の半數に下り今年は更に減少して昨年の約一割とならんとすれ是れ全く廉價にして無稅なる日本品に壓倒されたる結果なりと清商は語れりといふ

●大石橋の在鄕軍人團　大石橋に於ては今回在鄕軍人團を組織し稻次豫備二等軍醫推……されて團長と爲れりといふ尙同地に於て豫て問題と爲り居りたる健康診斷は警務署と督員側との折合全く圓滑と爲り同健康診斷は滿鐵病院に於て之を行ふことと爲れりと

●道路修繕開始　目下新市街の道路破損欠陷の場所尠からず殊に本道路の如きは敷き詰めたる栗石の露出し漸く修覆の必要を生したるより今回民會にては直營として其修繕方を宮崎工程局に一任したる由にて已に一昨日より着手せる由にて約二個月位にて竣成の見込なりと云ふ

●新市場移轉の準備　已記の如く過日來移轉の準備に忙はしかりし當地同市場も昨今は漸く商品の陳列を了りたるか來る五日頃には各店聯合にて盛なる開業祝を爲す由にて目下寄りゝ協議中なりと因に同市場は全部にて廿一戶あり呉服太物類を除きて日用品の總てを辦し得らるべしと云ふ

●再び輸入外國品の課稅に就て

過日本紙上に揭載したるか如く從前輸入外國品にして支那內地に輸送せらるゝものは其仕向地の關局に於て更らに稅金を賦課し居れる所過般當地美孚洋行か鐵嶺新民屯に向け石油を輸送したるに際し端なくも支那官憲と同商との間に爭議起り遂に米國領事の抗議する所と爲りたる由にて其理由とする處は該地即ち新民屯は昨年八月開放せられたる通商地なれは各通商口岸より輸送せらるる貨物は當然免稅せらるべき性質のものなり云々とのことにて其結果支那官憲にては從前の方針を改め通商口岸たる營口より各地の開放地に輸送せらるゝ物資は其營口稅關に於ける納稅の證に仕向地の地名を記入したるものは特に沿道の內地關局にては一應貨物の檢査を爲すのみにて之か販賣を許すことと爲せし由にて右稅關より下附ありたる納稅の證は必ず一個月以內に營口稅關へ返納をべしとのとなり

●練習艦隊旗艦嚴島を旅順に訪ふ

日清、日露の兩戰役に參加して赫々の偉勳を世に唄るゝもの我嚴島、松島、橋立の三姉妹艦なり、世界は認めて日本を以て東洋の名勝國と爲す而して其名勝國中の三名勝を以て艦名とする姉妹三艦は未來幾多の廣瀨中佐たるべき士官候補生を載せ、一月三十一日を以て橫須賀軍港を拔錨、長途演習の程に上つ、程を起して進航幾干ならず、風伯雨師の惡戲に觸れて流石の堅艦も洋中風の木の葉と飜弄されて三艦遂に連絡を失ふにいたる然れとも漸くに風凪き波靜まるの時に於て更らに艦隊を編みて日本の陸地即ち避難港を離れたるは二月二日、之れか爲め前後三日程を損せり、然れとも其後の航海頗る穩かに途中些の支障するものなく六月三日を以て我一軍港澎湖島に着へ夫より上海、膠洲灣、芝罘を經て去二十六日順港內に繫留せり、其間月を閱する五を費すこと一百十六日、航海路の延長七千海里なり▲記者乃ち入港の翌日を往て旅順に至る旗艦嚴島を訪問す、時恰も出港準備に忙しきの時、殘念にも司令官艦長、副長等の警咳に接するを得ざりき、而かも匆忙の際なりしに係はらず導かれて士官室に入れり、記者の問に答ふべく、既に一士官の座を構ふるあり、就て聞所左の如し▲ホノルヽに二月十九日着、二十七日出港、布哇ヒロを出港したるは三月二日、英領ニューヂー島シバ港拔錨三月十八日、英領ニージランドのウヰリントン港に三月三十日に入り四月六日出港、グリスランドのブリスベンに四月十五日着、夫より木曜島に入り同島を出帆したる五月一日、バタビヤを十五日發、シンガポール五月二十五日發、而して我澎湖島に着したるは六月三日同入日同港を發し六月十三日上海入港同十七日出港、十九日膠洲灣に入り廿二日出港廿三日芝罘に入り二十五日芝罘發二十二日旅順に入り二十八日出港、明二十九日大連に入港すべし▲向後の航路は三十日大連發七月一日仁川着四日間同地繫留、七月六日鎭海灣に入り十日間滯留、夫より釜山に淡水を積載、鹿兒島に寄港七月三十日橫須賀に歸港すべき豫定なりといふ▲而して途中殊に記臆に遺すべきはウヰリントンは我軍艦の入港したること二十年以來なり在留日本人は勿論在留英人等頗る歡待せり又布哇ヒロの如き在留日本人六万あり、殊に同地の日本人は狂喜し以て幾んど業を休んで歡待いたらさるなし、異鄕に邦人に遭ふ殊に相迎ひ相迎らるゝ其喜びや筆紙に盡し難きものあり、膠洲灣にては實に前例になき歡待を受けたり爲めに一日を延期したる位なりき、尤も時恰も山本大將が獨逸本國キール軍港に於て歡迎を受けつゝ遭ふものありて符節を合したるか如く我練習艦隊膠洲灣に饗せらる、一奇といふべし云々

文苑

課士二首　鷗盟章

撥垣初啓處。多士擁如雲。總是江南選。誰空翼北羣。桐花侵坐色。桂子襲衣芬。怪有如虹氣。篇成動斗文。南國須才彥。慚予共討論。薦奚容狗監。登自許龍門。抱瑟工匠勁。吹竽濫實繁。願收崇雅士。一爲挽西崑。

送劉別駕之任衛輝

輿君把臂自髫年。白下追隨許並肩。分乘忽驚新赤紱。剖符頓改舊青氈。共城夜月堪支笏。淇水春風好放船。他日九重徵茂異。知君班列掌書仙。

一往一來

▲竹村清（滿鐵技師）金城ホテルに滯留せしが一昨日大連へ向け出發せり

▲澤田瀧雄（滿鐵技手）仝上

……第十六條　船舶……長又は一……て取扱ふに足るものなるときは……文は……

公之
爲不可
哉。吾不解某大臣之新政。未見毫釐。而首以壓制報館。爲實行新政之初級。其新政尙足觀乎。夫報館而爲外人所設者。固無俟中國之保護。亦不慮中國之壓制。中國之權。不足以及之故也。惟中國之士君子。不得其志於勢位。而欲行其志於報章。空籲
雖曰無補。而餓其體膚。勞其筋
。困其心。恆其慮。發爲文章。

落之氣。不致秘
功於世道。故言
者足戒。其志亦
國之政府大臣。
遑。奈何有肆行
知以報館之可壓
也。而天下之口。
致若是。何以副
報館非佔居公廨
辦乃辦公之地。民爲。
既借民宅爲辦公
地。豈該報館僃居
宅可爲辦公之地
地。盍建築一辦公
。何分官民。官
於民。民亦不敢
。設以辦公之地。
以設報館。可乎。
平之風潮者。專
以立憲之政策教
則反之。是天子
而庶民莫達其隱
之所謂立憲者。最
納賄。結黨營私。
之言。即各大臣之
之前途渺渺。大局
持清議。創奸猾覬
雲霓之望。賴有報
於不敢。奈之何
谷有是理乎。

日警局巡官說

官不宜稱大人。原
意。然中國人喜人
名不甚辭讓。隨遇而安。
羞惡者流。必授人以諛己而受之以爲美稱。其事功固必有可取。而名稱已至極無以復加。此中國之所以養成老大帝國之名譽者也。吾既有發言之權。不得不痛加貶斥。其意亦豈爲警口之巡官已哉。乃日昨接有好事者之來函。爲此事辯之甚詳。蓋云警局巡官之所以自居於大人者。非先生之引繹據典。之所謂大人者也。大人二字之名詞。久失其攷。究不知所以稱之大人之故。不過以此二字爲稱尊而己。故三品大員稱大人者此也。若巡官之大人。彼蓋對孩提之童。三尺之孤。亦未嘗無鶴立雞羣之概。其所以得稱大人者此也。至對吾輩。何嘗敢以大人自居。而吾輩亦何嘗稱之爲大人哉。然其自大之心。誠不可無先生之論。以儆惕之。然先生不聞乎。警局總辦則稱大大人。道臺則稱老太大人。雖彼之自相稱呼。其事已不可爲訓。先生之論未及之。獨以不知稱道臺以何名爲結。豈知有此等之名稱者乎。故敢奉聞以補名論之不及。而爲巡官辯云云。噫有是哉。吾誠未之前聞。從此知有以稱道臺者矣。而道臺以上之稱。猶覺茫然。或曰。太老太大人。

中外要聞

●徐制軍對付剿匪辦法　日前徐制軍到津有某道官謁見譚及剿匪辦法制軍謂對付剿匪之法剿撫俱窮東省偏地皆匪誅之則不可勝誅撫之則爲害愈甚日俄用之則叛日俄華官用之則叛華官而對付之法只有半剿半撫者一意痛剿則若輩畏死轉足堅其爲匪之心勢必結成死黨抵死拒捕非分別招撫不可惟屢經叛去者斷不可撫而甘受招撫者尤必善爲處置擬有辦法三條一該匪頭目雖不妨授以下級軍官要不准仍帶其舊部之匪二受撫以後不准仍駐舊地三受撫之匪必分配各營倘野心不退以多數之兵亦足制少數之匪且日與多數受教育之兵相處則薰陶漸染庶可潛化其暴戾之氣日久馴至於善良云

●中日正在交涉　日本駐奉萩原總領事自日昨起將向提案件向徐大臣唐巡撫交涉現在談判聞所提案件係安奉路綫一帶之礦產及鹽務各問題云

●大興土木　據奉天訪函徐督到任以來似有意振作百廢待興惟下車伊始即嫌衙署狹隘房舍過舊似不足以壯觀而崇體制現在已命工人估價大興土木爲擴張衙署之經營據局外人言奉天現當財力困乏之際徐督宜爲樽節計不必急於衙署之門面維新云

●將設將弁學堂　聞奉省城內現在又擬刱設將弁學堂以儲將才而重戎政其學生年齡須二十五歲以上者其身體須精神充足氣力強壯者一切事宜章程聞已大畧擬妥云

●瞿尚書回籍　瞿尚書奉　旨開缺回籍人或有　留者須俟查辦後再行回籍尚書歸山意急已携家眷搭六日快車經漢向湘云

●汪穰卿之平和　瞿軍機參案以來北京日報同人交起攻擊京報汪穰卿其率涉辦時務報一節事全相反穰卿宄極矣有某紳聲稱當年在滬頗知其詳據云時務報初係穰卿所辦時梁啓超在湖南辦湘學會及湘學會停辦穰卿電梁邀請兩次梁來滬助穰卿後穰卿與梁不合另辦昌言報於是時務報歸梁專辦梁乃改官辦云云此其實情也當時在滬者皆能知之聞有人往詢鳴穰卿擬代鳴不平穰卿笑謝云世自有公論彼悠悠之口奈其吾何

●肅邸用私人之辯正　肅邸任用私人一節稍有傳聞之誤據某紳云熙何連三人熙名穀甫係裕中堂公子品學兼優何次卿前在工巡局充當委員於警察頗有閱歷任爲稽查員並非破格連昌係警務學堂畢業生前在工巡局當充巡警兼充圓明園八旗小學堂監督肅邸閑散時該三人與偕從遊均相得故外間疑爲肅邸之用私人耳云云肅邸夙負重望今得斐缺惟望認眞整頓勿貽人口實也

●陸尚書注重學治館　吏部陸尚書自到任後聞其對於學治館頗注重盖吏部之學治館專收州縣捐納人員肄業二個月即可行其所學出以治民聞陸尚書擬定期考查以期進步

●議定收化私錢　民政部議因近來市面錢項頗爲緊急所有私錢以及稍小之官板錢均不能通用現設法擬將小個當十錢一律由官備價收回以期市面安謐而圜法整頓不日即出示曉諭矣

●正副監督品秩　日前度支部奏定總銀行正監督以張允言補副監督以副監督以錫廉補茲聞該監督即作爲實官正監督與左右丞同三品副監督與左右參議同四品廉俸亦與部章相同

●駁籌學堂經費　聞度支部議北洋所設之憲兵學堂電信隊經費奇絀請由部撥欵此事礙難允准因陸軍已歸陸軍部節制所有此項經費應由陸軍部奏定陸軍學堂經費項下提支云云已咨覆袁督矣

●留日學生大鬧使署　中國留學日本陸軍士官學校生徒共十七名一齊使署拜謁楊星使遂向星使邀求增給衣裝費若干星使日此項前途定章既已添撥今並無庸邀求此項勉諭婉斥生徒等聞言突然離席而起戟手唾罵極形野蠻又在賓室挑擲茶具等物隨手毀壞狼藉無所不至又將闖進星使公室勢甚兇惡署員禦不勝禦乃急引警吏來調停纔得無事翌日星使向日陸軍省具狀請求處罰日陸軍省急爲調查一切即將主犯三名嚴飭退學云

●楊使請假回京　駐日楊欽使有電至外部據云邇因水土不服一豎任身請假回京調治並可稟明日本情形等語未知邀允准否

●趙次帥到京　趙次帥已經離奉途過天津盤桓一星期昨日晉京暫寓西華門外精華寺聞次帥與新授川臬何廉訪磋商要公留京須二閱月約八月間赴任其在京謀要缺之說不確云

●調查美使精琪條陳　汪大燮侍郎條陳金幣事宜已由內閣大開會議尙未決定茲度支部飭將從前美國派來京議圜幣事宜之專使精琪條陳鈔錄一份以爲改良金幣之參攷

●違例吸烟罰欵　政務處會議王公大臣以至下僚無論實署補選官職凡吸洋煙違例不能禁戒者均定罰律按品級大小輕重科罰此項罰欵作爲國民捐之用

●咨辦蒙古新政　聞理藩部通咨庫倫科布多塔爾巴哈台伊犂烏里雅蘇台等處將軍以及辦事大臣等令其將所屬墾務礦務林業遊牧工藝皮毛及一切出產應興應革各項新政一律調查列表送部以憑核辦

●議裁雲南膏局　度支部會議擬將雲南土膏分局裁撤以節糜費已電商土膏統捐總局駐紮武昌之侍郎柯逢時議商決定裁去矣

●咨行各省勸限禁種鶯粟　粵督周准陸軍部火票遞到民政部咨准外務部咨稱禁烟一事本部曾擬節略六條面交英使并一面函致駐英汪大臣轉達英國政府去後茲准汪大臣函復稱英政府甚願竭力相助惟印度欲以一千九百八年爲施禁之始今有贊成之說似尙易于就範近日英議院會論及此事頗有疑我意在暢行土藥專阻洋藥者倘于土藥減種一事確能實行一切自易順手等語咨請通行各省飭辦等因前來本部查洋藥進口一節事關交涉應由外務部與英使臣妥商辦法而減種土藥以淨根株實爲地方行政秩序之事際此各國既多贊成印度爲洋藥出產之區英政府尚願盡力相助據此情形倘我國于土藥減種一層不能切實奉行不但有碍邦交且更貽誤大局自應嚴飭各屬地方官按照政務處禁烟新章確查境內向種土藥地畝暨出產數目先行造册報部存案以資考核嗣後減種土藥之數每年報部一次統限九年　律盡絕并一面在城市鄉莊張限貼告示俾衆週知庶減種土藥可期貫則禁止洋藥自不至貽人口實除毒害以圖振興全視此舉相應抄錄原文并汪大臣復函咨行貴督轉飭各屬遵照辦理可也附刷件等因到本部堂准此查限種鶯粟前于上年十二月據藩學臬運四司會議章程詳議核辦當經批明廣東山多田少本省所產米粮不敷民食即有種鶯粟者亦應查禁若令遞年減種轉多查報給照之煩慮深擾累農工商部原奏本有未滿十年全行改種他糧准將地方官奏獎明文是不必定拘十年之限因令嚴飭地方官一律查明凡向未栽種者永不准種本年業經栽秧者免其改種外自明年起一律改種他粮不准再種違者究辦通行在案准咨前因合就檄行爲此案仰該局照依部咨及粘單內事理即便會同布政司移行各道府廳州縣遵照云云

●法民亂之難靖　英國民變首領亞爾斂爾杜於那爾本及亞爾桂里亞斯地方召集亂民委員開會演說與相國克列們索君會晤事宜據云相國聲言所有百姓若有擲軍械而持鋤犁息擾亂而復正業者則政府將向來因徒當一併釋放並飭回軍隊且對於栽種葡萄加意保護等語然該委員等以相國宣明爲不確尙爲猶豫竟決計續行滋擾

●英艦觸礁　英國巡洋艦偉羅不斯號於離格克達雲約百五十里之洋面撞觸暗礁殆將覆沒謂斯格杜公及此員並在船上避難幸均得救然一時焦灼不堪矣

●德皇對日艦之聲明　德皇維廉請日艦筑波千歲二艦將士於御艇向邊索爾連賜宴伊集院提督賜以御容相片並賜將士寶星有差且由德皇用英語申明云　皇飭令艦隊遠航祁爾埠厚誼莫名曷勝感激庶幾日德兩國艦隊互相聯絡力維全球和平與

●軍法會議廢止展期　法國擬將軍法會議廢止一事決定於議會展期提議

●德報對三國訂約情形　英法西三國關於地中海洋面訂約事宜德國報界議論極爲平靖並以法報所載與條約章程均不相符頗視爲異

●日法協約內容之解釋　日法協約中所謂主權及保護權占有權云者由中國觀之似甚有歧異之意然外交界本多難索解之語固不僅此也試以現在情形證之如臺灣如安南均在日法兩國主權之範圍又如韓國如東埔寨均在日法兩國保護權之範圍又如旅大如廣州均在日法兩國占有權之範圍此三權之範圍無不與我中國領土大有影響者此次日法協約所稱保障中國領土並維繫其邊徼地方安寧與秩序者命意惟確保兩國三權初不與中國主權相涉也但外交之事難保時有牽動若由旅大以及滿洲一帶地方或由廣州以及雲貴兩省地方則日法均將受異常之吃虧此宜設法預防之於未然之先者也且法之安南日之韓國並位置於東洋中在在與中國境界相連一旦有事勢不至釀生交涉辯難之局不止亦難保餘勢之不決裂也此之謂致誤解之原因亦宜設法預防於未然之先者也且日本之臺灣與中國福建止隔一衣帶水而法之廣州與中國雲南交錯均爲中國南徼之宜警畫者今中國主權所存雖無庸由日法兩國互保持其秩序與安寧然在日法亦須未雨綢繆以資防衛此當然之勢也所慮者中國諸人未慮及此因有此次日法協約輒謂兩國任意以保護中國之領土則謬已蓋國際之事極易致誤解況日法之於東洋均有其權利之可主張苟一旦遇匆卒之變難保無許多誤解致激事端在是時宜訂成協約以備他日解難排紛之地步也法之慮安南日之慮臺灣其事則一也法曾經在中法戰爭時占領基隆口日亦曾不滿意法助俄之波維的艦隊每值東洋事變日法互起猜疑則雖願他日不致誤解亦不能爲但法占領基隆口事屬疇昔且與日本無涉萬無可慮者然觀法之據安南乃占廣州灣也凡與日本有事之時應受其影響者不在日本本土而必在臺灣況法曾經有占領基隆口之

(四)　滿洲日報

此亦日本之所慮於萬一者也可見協約雖以保障中國領土爲詞然實爲各本國計初非爲中國妨碍主權計也況由日法通商上觀之協約唯恐一日不速成尚何專以中國爲目的耶此理中國人士恐或未悉茲特釋明以資參攷

雜報

●考試塾師之口實　營口商業學堂監督汪一庵前考試各塾師共取十五人有某者揚言曰汪君己許我冠軍俟發後果如其言則邀汪于二君携妓□表謝忱云古有所謂決科者以□之也某者亦何不自量其□美談乎在汪君□尤以一言相

●兩爭解釋　營口某英人在三義廟路西修造洋樓一座經木匠劉某者爲之督工修造約費洋銀八千餘元劉某向某英人開工錢未允匠人怒甚兩相爭鬪被巡警兵瞥見爲之解釋事乃寢

●斗稅查催　營口以豆餅油爲出入貨之大宗故斗稅亦因之而旺約有九百餘斗而斗稅自不下數千萬金矣日昨奉天財政局有札催繳此欵而此向繳牛莊城之城守尉今財政局查催商務總會特開會議以議如何對付之方法云

●俄人以兵保護領事署　有本館友遊歷齊々哈爾而回據云該處俄國領事館駐有哥薩克兵保護該館雖不過二十名之數然當撤兵限滿之時駐兵保護究係背約未悉將來如何議決又云昨報所記俄人在齊々哈爾附近私□地從事開墾此則毫無其事當係□誤

□開用印信　徐菊仁制軍具摺□奉　旨頒發之光字一百三□守東三省將軍印信現己於□開用其吉林省關防亦交□賫查擇吉開用黑龍江關□送交暫署巡撫程德全先□信守摺上奉　旨知道□於初二日接授總督事並□及奉天　督闕防咨送禮□奉　旨知道

□場情形　吉長鐵路總辦兼□總辦宋春鰲吉强軍統領胡殿□各局所總帮數名稟請辭職再□治因循白政弛廢新撫朱中丞□便服出轅考察吏治以爲整頓地□以大小官員頗形惶惑

□財政局恭迎督辦　新委東邊道張□波觀察錫鑾爲財政局督辦已誌前□茲探該局以督辦到差在即特移庶□所正房爲督辦辦公之所而庶務所□則移於俸餉所云

●□觀察將去　省城巡警總局督總辦□觀察於十八日交卸之後即移居北□衛生醫院暫住擬不日起程回里云

雜文

●糞讚　韓人白蓮池雲英

□無友者也寂々寥々恒自獨居寂々□故其神定焉恒自獨居故其氣一□物不觸物々不觸物々我相忘故神□一也品下々故人不惜之下々品□不自惜人不惜故無望也不自惜故無憂也無望無憂故身雖下々而心則上々也有上々之心故化腐爲新之妙自生於其中夫糞本腐物故尤腐尤好尤腐則尤妙於化腐爲新也化腐爲新惟糞最能々不自能而人知其能故自棄而人終不棄也人終不棄故糞其田而不足則入廁而取之此乃糞之得意運而黍稷稻粱禾麻菽麥皆是糞力所成之秋也化臭爲香化穢爲淨不亦非常乎糞異於米者異於米故有成穀之功譬如人之異於人者有濟世之法也不異則無逆不逆則無翻逆之翻之然後方有絕倫之神變也不成穀時無友不論濟世時無友及其成穀而濟世德不孤必有隣也讚曰肥土神功化瘠爲沃彌腐彌新尤豐八穀

●枷詞

有告姦情者官欲枷女人婦言能詞官命就事作黄鶯兒一首云妾命木星臨一人身兩截分松杉裁剪爲圓領脂難點唇頸交不成低頭不見弓鞋影好羞奈無能梳鬢雲並肩人難把身相近香腮怎溫櫻桃怎親畫眉兒無計難帮襯成新文風流邑宰獨桌晏紅裙官笑而釋之

雜俎

●風趣

落花與蝴蝶齊飛勢將墜地驀地一陣東風颺之高舉蝴蝶向花極力迎合將合未合之際一風兜頭撲去使花蝶分飛東西上下各將瓦解風忽捲作旋渦蝴蝶與花不由自主隨風旋轉咸捲於旋風之中心點此風不亦趣哉

美人晚妝甫竟倚窻對鏡見鬢鬢光梳一絲不亂正自愛惜忽來一縷輕風向鬢邊掠去鬢絲吹落一二三條盈盈然隨風飄拂以手挽之正復舊觀又被風吹落如是者再四美人怒不可遏以足蹈地心中恨恨瞋目擡頭向空中凝視看風究竟自何來此風不亦趣哉

半江紅日水綠於染珠兒女放舟柳陰樹下晚餐甫畢鼓棹而歌歌聲繚繞悠揚不斷有客繫舟彼岸橫吹鐵笛瀏洒臨風風從對岸吹來隱隱聞珠兒女歌聲爲之按腔叶韵遙相和答奈風忽起忽滅歌聲之斷續因之吹笛者側耳聆風々靜聲沉若有所俟聲隨風至則急起和之此風不亦趣哉

一對鴛鴦從上流游下相隔丈餘若不得合風爲之吹波助瀾撞合一處鴛鴦與鴦喜聲大噪若有得色既而細語喁◎若可聞若不可聞水緊風狂迅流而下直至荷花深處鴛鴦睡着則風絲悠悠易狂而溫若恐驚其美睡者此風不亦趣哉

游子歸家心急於箭一舟蕩漾徘徊水中沿岸牽纜盡日不移一寸苦不可耐忽而南風刮起舟人喝聲收纜揚帆而去不費一炊時許便抵里門入室與妻小暢談極言今日幸得一帆風力否則日入當不抵家妻小樂不可言翹首緬風大有不勝感謝之忱幾欲下拜此風不亦趣哉

日落東濠畫舫朱航公子聯翩至笙歌以次漸起管絃嘔啞雜以笑語夜愈深聲愈縱附近漁家擁衾而臥者爲聲所聒睡總不著仰望明月恨不得一陣狂風吹之東落俾夜闌人散得安寢息俄爲大風怒號入日盡黑東船西舫紛紛下舵鴟者與侑觴者縮作一團深恐爲風招下龍宮去口舌皆噤不敢則聲老漁等遂安帖睡去此風不亦趣哉

笑林

●現報

粵中有某甲窶人子也生平無他事業惟日以慫恿友人行善爲目的其後各友亦稍稍信用之凡一切修橋整路施棺捨藥平糶賑粥等善舉靡不引甲以共事爲詎甲自入善界後曾無幾時而光耀閭里里人咸嘖嘖稱羨一日某甲廣置姬妾尋復捐箇二品銜翎頂靴帽家貲亦漸饒裕未幾而營大廈增肥田夫妻忽丁雙壽之辰凡親朋戚好無不踵門致賀一時壽筵大開殽觴燦陳讌會之頃有頌甲之盛德者有視甲之長生者有謂某甲之行善宜獲現報者諛詞吉語滿堂滿室正笑語間詎料堂上忽有不解事之老婦向甲妻而私問曰汝家丈夫一向食貧今何幸而忽爲得此將毋是博得山票頭彩乎甲妻曰不然汝怎忘却行善自有現報一語乎忖我家素無意外財但見他日日往行善事故一切善資皆得源源輸入我家中而暴富自不難耳即這番富貴壽考寧非天之現報我家行善之證據乎該老婦乃頓然悟曰這麼事原來如此就怪不得近日來人人都想去行善咯

●煙人大會

羊城某甲黑籍中人日聞開燈煙館統限六月一律閉歇消息喜謂乙曰省城煙館不下千百間一律閉歇我在住家開燈定有同道者來因此可以獲利子以爲然否乙曰煙館尚不許開燈住家定干涉甲曰然則煙館與住家均不准人開燈我輩吸煙當在何地乙曰□日迅聞政府欲在東西門外擇一曠地蓋一大棚比鐵路公司在黃沙會議之棚大逾數倍早晚限以時間有犯引者皆到此吸食開閉有一定時刻違者重罰不日將見明文也甲爲之鬱鬱不樂旁有一丙笑曰果爾可稱爲煙精大會勝塗山之會遠矣吾當執筆紀之曰某年月日煙精大會於某處執煙鎗者數萬人聞者爲之絕倒

西義順代收江淮水災欵

陳鳳池一角　第三局韓振山五元
李寶海三元　鄒承賢一元五角
苗玉文一元　張春元八角
袁麟閣六角　王國祥四角
王文漢六角　張華堂四角

營口 昇平茶園

傳連吉　三盞燈　景得泉　小靈芝　小保魁　范永在　小榮福　小春來

二十二日

開山寺　丑表功　斬五虎　双想思　白良關　三十六友　汾河灣　晒中福

趙永汴　景德全　小靈芝　小保奎　小春來　小榮福　張萬順

逃五國　伐東吳　中秋節　黑風帕　嘉興府　女起解　連環套

告白

敬啓者余自光緒三十年來營埠辦理公務曾蒙各位大老爺深情賜教不勝感荷本應躬詣拜謝以表敬忱奈余調派大連灣海關稅務司事務紛繁不得親到營埠實深缺憾故特登諸報章以伸悃謝伏冀諒照

黑澤禮吉頓具

痔瘻專門之手術經驗凡有五年醫法惟用纖細藥針注射一二次即行全愈並無刀割刃裂之痛苦患此者不必入院醫治並梅毒婦人科外科胃腸科凡醫治者入院可也恐未週知特此佈告

營口永世街(電話二二七)

日本醫院

一津輕檜大角 八尺ヨリ卅二尺迄 各種
一仙臺松大角 十七尺ヨリ廿五尺迄 各種
外檜大丸太 板 小丸太各種

營口市街東青堆子河岸

淡谷木局

(電話二百七十九番)

會席御料理 旅館 鐵嶺

りん病
せうかち
ボーコーカタル
即ち花柳病の特効新藥

(醫藥學細菌學應用 萬國陸海軍局方參照)

登錄商標

御典藥 複方 麻病丸

藥價 三日分三十戔 七日分五十戔 十七日分壹円 小包料十戔

取次全國各地及清韓各有名藥店

大阪江戶堀下通三丁目 電話西千五十九番 本家

安々堂藥局

複方 癧病丸 (白濁藥)

此藥當白濁五淋白帶下及麻病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮病服之應手奏效不可疑聖藥也

宜用嘎洛散洗淨患處則奏愈速

承辦大清國營口衛生局醫藥器械等物商

批發所 營口永世街 警務課東隣

回天堂大藥房

(電話百七十番舍宿)(電話百九十番)

東盛和

本行在營口創設二十餘年專辦出口餅豆柏等土貨油進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲便固貯油豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及在棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷

總理司人 葉亮卿謹白

？

加藤洋行ハ明日カラ此所ニ如何ナル廣告ヲ出スデセウ……？

一杉丸太 一亞鉛板 一消毒石灰 一白米 一洋釘

一板小割 一平野水 一各種石炭 一木炭 一金庫

營口南本街四丁目

喜久洋行

(電話三一四)

日本酒 ゲンビシ

奉天 遼陽 池上出張所

料理 一力

營口元神廟街 店主 万堀助

旅館 東京

營口元神廟街 館主

旅館 大和

永世街三十四號 (電話一…) 店主 前田九…

……の貼付あるときは此の限に在らず
……一條 阿片を內地に輸送せんとするときは税金の有無を問はず税關に申請し證……
第十三條 武器、彈藥、爆發物及其の製造材料を輸入せんとするときは税關の許可を得たる後に非されは船卸又は陸揚を爲す……
……出することを得す
第十五條 前二條の規定は日本陸海軍又は警察の用に供する武器、彈藥其の他に之を適用せす
……船舶の名稱、記號、番號、個數、數量、噸量及荷受人を記載し船長又は其の代理者之に署名すへし
物の仕出地、仕向地……內地仕向の積載貨物の數量と獨立貨物し……
……り訂正補足することを得

上等は甲萬と相對して日本醬油中の第一位なり
上山サ印最上醬油御入用の御仁は大連市吉野町の(田)川村洋行(電話二三三)へ御命じ被成下度候

昨日の氣溫 最高八六、九 最低六四、二 昨年の比 高七、三 低六、〇
大連地方 北の風曇り
奉天地方 東の風曇り

……たる……來愛……の梅も笑を……日の影のさす頃てし……に出たおなぎさん急に腹……追入り な「筑阿彌さん〳〵如何した な「何だか産れそうてお腹が痛くなって來ました 筑「それは大變、彌介起て呉れおくる婆アさん起て呉れと呼立てました故、八十一になるおくると云ふ婆さんか一番先に飛ひ起きまして、おなきさんを一間へ伴込み、一間と云っても疊は敷てない板敷の上へ莚を敷て莚の屏風か建てある計り、そこへ衣類やら袢纏やら種々の物を積み、産ほろとして重ねる内に筑阿彌さんは臺處て釜の下を焚きつけ、若水を入れて湯を沸かす、其内彌介か擅那寺へ行て藥を貰って來る、是は昔はお醫者か無いからお寺て藥を呉れるのてあった、夫故彌介は寺へ行って産子へ呑す藥と産婦へ呑す藥を……って來た、其内におなきはアッと聲を揚……るおくる、かおや生れたと云ふと美麗な……の兒とは云ひ並の兒より小さいか、貫目……あってオキャアと云ふ産聲か村中に聞へ親仁の筑阿彌も母のおなきも驚いた位……か飛て來て 彌「ヤアおなきさんは猿の……を産た おくる「馬鹿をお云ひ人間た 彌「……な聲だ、人間と猿の合の兒か知ら 筑「……しろ芽出度、擅那寺へ行て名を阿けて貰……って な「まって下さい七夜になってから名を付けましやう」とおなぎか云ったか、成……産婦の考ては、此兒は正月元日生れ殊に……輪を懷へ入れたと見て産れた兒、成長の……は賴母しいと思ったので、こう云ったの……たか、實に夫に違はない後には關白太……臣御意忌あって太閤殿下と呼れ、日本六十餘州鬼と云はれし島津侯を始め、天下の麒麟と稱されし徳川家康公に履を取らし賢君子と稱されし、前田利家公と兄弟の約を結ひ給ひ朝鮮入道を打破り、大明に押入りて既に大明の王と爲らんとせられ、又我日本の聖天子をして東洋の聖天子と仕奉り世界萬國を呑ん考へ、若し太閤をして百歳の長壽を保たせなは、西洋をも日本に屬させ地獄極樂を攻て閻魔大王を生捕り大阪へ連れ來りて、大阪閻魔の眞中てと萬歲踊りてもするてありましたろう、扨て夫は置きましておなぎ殿か産んた兒を七夜の日に擅那寺からも人か來て日吉丸と名號ましたか虫氣もなく成長して八才の時光明寺の門弟となりましたけれと、沙門を嫌らって遠三尾濃の四箇國を飛あるき、遠州に到り今川臣下松下嘉兵衛尉に仕へ、木下藤吉郎高吉と成り胴丸の鎧を買ふと迯を去り、故郷尾州に戻り信長公に仕へ、淺井朝倉を亡じ今川義元を討ち、隣國の諸侯を手につけ尾張半國より信長公を日本の織田信長にしたて奉りしは半は秀吉の藤吉か力てあります故に江州長濱の城主となり、播州姫路の主人となり、織田信長公に對しては忠厚なる人なりしか、明智光秀か反逆を起し信長公を本能寺て弑しました、折柄秀吉公は其復讎をとあって直に中國から御引返しになり山崎の一戰に見事明智を亡ほしてから其勢ひと云ふものは旭日の昇るか如く、其翌年には賤ケ嶽の戰爭、是又容易ならさる大決戰をやって北陸に進んて柴田勝家を亡ほしたか[illegible]ふのは信長公の御妹御谷の方といふのてございます、秀吉公は此も勝家と共に亡ほしたといふ説てあるか全くは左うてありません、お谷の方を始め三人の御娘御を秀吉は御救ひ申したといふのて事實は此三人の娘の中の總領か即ち淀殿た夫れはお谷の方は大阪の御城内て淀殿付となって居られたと云ふ、從って淀殿の勢力も盛んてあったと云ふ事てございますか、夫れは又後の御話しとして夫れより引續いて、徳川家と御紛分もございましたか、之も御和睦といふことになり、續いて四國を攻め九州を征して是も皆手に入れるやうな事になりました。」

新着 **稻正宗** 盛進商行（電話二〇番）

安東縣雜談

陸軍大臣か來安の時領事館て建築制限法の必要を説たか經濟情況と發展の程度とを知らない一通のお客さんは兎角迂遠な事を言ふ▲來年々々て鐵橋と安奉線の改築を待て居る者は萬朝報の六月十六日の端書ポンチだと云ふて居る、聞て見ると言い草かお面白い目的に達するまて足腰か達者なれはよいかと▲舊遊園地の移轉と舊市街の玉ころかし、ぶんまはしの移轉問題とて一寸火の手を擧ける樣てあったか周圍か喧しいので當局事者も遂に斷行することにした▲近頃安東縣ても餘程本妻か增加した滿妻を廢して本妻の輸入は經濟から割出したのたらうか風紀上から言っても結構な次第ぢや▲其新來の奥さんか時々市場へ買物に行たり亭主の目を盜んて友人の訪問とハイカラをきめこむ途中支那苦力に賣婦と見違へられ赤面する者の多いのも滑稽ぢや▲一犬虚を吠へて萬犬實を傳ふるは安東に限った譯けてもないか兎角當地は羽織ゴロか多くて根據もない事にわい〳〵騷き出すのは行政の障害になるとこぼして居るか然し皆んなかさうてもない時にはお役人か種まきすることもある▲獨立守備隊長たのそれ總領事クランソン氏夫人たのそれ某それ某と枚擧するに遑まないほと韓國方面からお客さんか來るか此種の人は京城、平壤奉天の通路上不得止立寄るので何んの利益にもならないほんの旅館へ二三圓宛金を投するのみてある▲近頃羽織ゴロッキか多いたけ新聞記者風を吹かせる僞記者も增加た、何か嬉しうてそんな馬鹿なまねをするのたらう一向彼奴等の氣か知れない。

雜報

●營口婦人育兒會の近狀　豫て當地在留婦人中の有志に依りて發起せられ其後假事務所を青年倶樂部に設け普く一般會員ノ募集に努めつゝありし同會は頃來漸く相當の資金と會員を獲たれは愈々適當の家屋を借り受け無告の嬰兒を收容救濟する事と爲りたる由にて目今其準備中なりと云ふ尚は近々第一回總會を開き一般會員に對して會務の經過を報告すへしと云ふ

●塵芥掃除方に就て　豫て當地民會直營の下に佐藤啓太郎をして請負はしめ居りし塵芥糞尿取片附けに就ては徃々不行届きの場合ある〆覗え同事務所に向け匿名にて投書し來るものあり依て當局者も充分注意して監督なさしめ居るも斯かる匿名の投書に對しては如何の處置をも施し難く困り居る樣子なれは若しも右等の掃除方法に就て手落ち不親切等の所置あらは遠慮なく事務所迄申出てられたしとの事なり

●式部姿の奉天學生　東京府下澁谷の實踐女學校に五月二日入學せる奉天附近の官費女流留學生は其後先來の清國女學生廿一名と共に同一寄宿舍に收容され居るか其近況を聞くに服裝は揃ひの矢絣の單物に海老茶の袴を着け下げ髮をリボンて括り中には母國の風采其儘なるもあるが座臥進退は比較的日本化せられたるものゝ如し偖て先頃より愈々新來の廿三名に本課を教ふる事となりたるか日語か如何にも不充分故昨今は普通學よりは語學に重きを置き教師にも通辯を附せず日語を以て總べての事物を實地に教授する樣に力めつゝあるか比較的語學の修得に敏捷なるやうに思はるゝ故遠からぬ中に巧に日語を操るに至らん身體は見た所健全の如くなるが何樣溫度の異なる事氣候に馴れざる事等より氣候の變り目などには徃々健康を傷ふものあるより努めて體育に注意せしめつゝあり併し幸な事には清國南部地方の人種とは異なり纒足の風緩やかなる故歩行に左程の困難なく從って運動遊戲の如きも半ケ年も經過せば日本の女學生と共に行ふに差支なからんと

●藝妓の誘拐(未遂)　遂四五日前の事なりとか南ォ世街料理店紀伊の國屋事杉本春松方抱女佐々木うたなるもの石原洋行と名乘れる間鍋某と共に領事館に出頭し右うたか牛家屯某樓へ鞍替せむ爲にとて仝人の居住證明願を提出せしが館にては法令上當然證明すへき筈なるも何か其間に怪しき事ありと見えて一時證明を見合せ直に抱主杉本等を召喚して訊問したる處右は毫も抱主の關知せざる處なるのみならず右うたは杉本方に本年十一月迄勤むへき契約にて杉本より曾て同人前借の辨償をなし貰ひたる次第にして現時は決して他に轉じ得へき身にあらず是全く間鍋が一の目論見ありてうたを誘引教唆したるものなる事判明せし由にて間鍋とうたとは犬眼玉を頂戴しうたは無事抱主へ引渡されたりといふ

●蝶夢樓夢八のドロン　當地南ォ世街料理店蝶夢方抱子夢八事本名山田ハル(廿)は本月十四日以來一人の叔父山田菅臣(卅)と共に仝街下宿屋營業湊屋方に止宿せしものなるか過る二十四日田尻鐵三なるものを介して百五十圓の前金にて自分を抱へ呉れまじくやと蝶夢主人に申込けるにぞ同主人は兎に角本人を見たる上ならでは確答しがたしとて同二十六日湊屋方へ行き一應本人に面會せしにハルと叔父との間柄か何となく夫婦なるかの如く見ゆるのみならず戸籍にも曖昧の點ありしとかにて同主人は一先之を斷りしも田尻は百方辯を盡して強ゐて承諾せしめ遂に同二十七日其筋の許可を得てハルは同樓の藝妓となり同時に金錢の授受も濟ましけるか翌二十八日夜未だ明けざるに右ハルは叔父と手に手を取りてドロンを極めしものか一向兩人の姿見えざりければ樓主の驚愕一方ならず直に手續を經て告訴に及びたりといふ去るにても近時此類の騷少からす各樓主たる者大に注意すへき事にこそ

●營口座の替り狂言　營口座にては今晩より狂言を替へ

前、醉菩提洗輝　三幕
中、式三番叟引拔段廻り　一幕
切、嫗山姥廓噺兼冬館の場　一幕

を出す由にて其役割は左の如し

野晒吾助、三番叟、煙草賣源七、中村駒助。浮世戸平、三番叟、八重桐、市川玉三郎。親詫助、中村珊左衛門、提婆仁三、中村雀十郎。娘お賤、妹白菊、翁、市川茂々三郎。六字南無右衛門、太田十郎、實川貴笑。下女お巻、市川市河三郎。子分吉藏、作平、片岡我久六。子分三吉、家來、中村駒次。娘お大、腰元楓、中村政駒。子分良助、家來、嵐立花。子分勘太、嵐豐三郎。子分長藏、家來、市川右喜次。家來、子分吉、市川調十郎。腰元お歌、中村歌之亟。

內地異聞

▲遞信省にては多年通信交通に關する各種材料を蒐集せしか今回芝公園通信官吏傳習所内にて之を陳列し去二十三日より向三十日間公衆に縱覽を許せり▲東京府下大島村煙火業小林敬二方にて煙火製造中誤つて發火し即死一名重傷四名▲廣島市私立廣島高等女學校教頭松岡道子(六十)女史は明治元年より今年に至る四十年間專ら女子教育に從事し今尚日々老軀を提けて教育界に立ち壯者も及はさる熱心家なるより此程縣知事の推薦にて帝國教育會より頌狀と賞牌を贈られたり▲崎玉縣三田川村黒澤庄平方に去廿一日發火し二戸を燒失せしめたるより其筋にて取調の結果庄平の男善作の嫁お菊(三十)か昨年中同村齊藤岩五郎(廿三)と姦通したる事現はれ本夫より離縁せられ爾來姦夫と公然夫婦となり居りし中去十九日岩五郎か外出せし儘歸宅せさるより心配の餘り精神に異狀を生し前記の如く庄平方へ放火して自から火中へ身を投し燒死を遂けたる次第とわかる

投書かご

▲功名をなすのは僥倖が六分で腕前が四分である(大連桑庵)▲「滿鐵に長春はづれの日永かな」猫杓子こうして末を滿鐵かな(盟舟)▲孟家屯男「樓主の夏痩せ滿鐵より」禁制の玉川の繁子さん相乘馬車てお節句に長春行とは一寸乙てす子(岡燒營)▲七福亭のお多福共が往來てチャンコロとの巫山戲かたは全く邦人の面汚しだ(通行生)▲遼陽第一東洋館の千吉はんは近來大にお樂しみ(地廻り)▲鐵嶺遼東公司澤〇さん余り人の惡口は云ふ者てありません(店員同志)▲孟家屯玉川の小櫻さん余り澄すとスッパヌキますよ(天知地知生)▲入船の喜蝶さん毎晩好ちやんと芝居見物はお樂しみネ(羨生)▲東邦亭年子はんはチト夏痩せしましたね(心配生)▲遼陽菊水館のすみ子はんは目下〇〇洋行のハイカラ君と大浮かれ筋だ(薄燒子)▲戰勝亭のお玉はんは聲の出ない病氣となつた御氣の毒樣ネ(熟知生)▲公主嶺の公司連は看板倒しでゴマカシ主義だ劍呑〳〵(注意生)▲大連盤城町の盤城ホテルは勉強で而して親切である(一客人)▲芝居の最中に高聲で電話をかけるのは大に公德を欠いて居る(不都合生)▲第二大橋樓おかるはんの事は事實無根の由申越したれば取消し申候(編輯小僧)▲鐵嶺〇進樓の梅子さんは近々丸まげとなるそうだ(風聞生)▲公主嶺旭湯前の床屋は店を休んで打って居る(注告子)▲鐵嶺菊水の料理は一寸ウマクして且つお酌も上等だ(粋菊生)▲遼陽賓來館の深雪はチト權ぱる(キ印)▲公主嶺日盛館の大黑柱は春子はんどす(也廻り)

滿洲の座

▲安東　四番町通七丁目盧塚イトは警入風の爲に拘留七日、又三番町通六丁目横燗ヤナは取締規則違反にて科料に處せられたり▲大連松公園中川方酌婦波多江キワ(二)は情夫にだまされて何れへか身を隱したり▲遼陽西門外吉茂洋行店員林良次郎(二)は隣家前川宗七の長女ミヨ(一七)を見染めしも遂に思ひを達する能はず失望の極自殺したり▲公主嶺　昌圖公司副支配人廣兼權三(三五)は豫備陸軍少尉なるにも拘はらず詐欺取財の廉を以て拘引せられ直に大連警務署へ送られたり

瀛船彙報

▲相撲丸(日本郵船會社)一昨二十九日來航したる相撲丸は船客四名雜貨二千六百七十個を搭載入港せる由
▲酒田丸(日本郵船會社)昨日午前出帆したる酒田丸は豆粕一万七千二百七十担を搭載横濱へ向へり

爲替相場　(七月一日)名のみ

正金銀行	受	拂
內地	一〇二圓二五	一〇四圓〇〇
上海 軍票百圓ニ付	七一兩〇〇	七二兩〇〇
天津	一〇四圓五〇	一〇三圓五〇
芝罘 銀百弗ニ付	一〇五圓〇〇	一〇四圓〇〇

本埠通貨相場

正隆銀行	受	拂
銀貨百圓ニ付軍票	九七圓〇〇	九五圓〇〇
金貨	八九圓〇〇	九〇圓〇〇
忠鎭銀貨一兩ニ付軍票	一圓三十五錢大圓	

支那錢舖	受	拂
大票	一一、九〇〇	[illegible]
小票百弗ニ付	一一、五〇〇	一一〇、七〇〇
小銀貨	六、五	五、八〇〇

重用貨物表

豆餅十斤一兩五〇　豆油百斤
元豆 八兩二〇　青豆八二二　合豆七九〇
藍魚 九八兩二〇立馬 ——　大金鐘
紅 七〇兩　鯨橋 七〇、〇　三馬
人造茶 大九、五　紅人竹 六九兩〇　探險人
粗布 大龍甲 ——　藍大牛 ——　元島

牛莊郵便局爲替貯金
金銀受拂相場 六月三十日ヨリ七月六日迄
軍票又ハ圓銀壹圓ニ付
本邦通貨 金壹圓〇貳錢三厘
電話問合ヲ謝絶ス

營口出帆廣告

日本郵船會社瀛船出帆

●高砂丸 十二日着十六日出帆 大連仁川門司神戸行

●相模丸 七月四日午前九時太沽芝罘長崎門司神戸行

（御乘客は前日夕刻迄御乘船相成度候）

營口 代理店 旗昌洋行（電話二六番）

（乘船切符發賣ハ出帆前三時間迄 末明出港ノ分ハ前日午後五時迄）

瀛船營口出帆

●摩耶山丸 七月二日大連門司武豊行

●頼朝丸（營口大阪間定期）

●長柄丸（營口芝罘間定期）

●營…丸

行

本日ヨリ新市街新築病院ニ於テ從前ノ通リ

一般患者ノ診療ニ應ス

六月一日

院長醫學士 松井甚四郎

新市街寶來街

營口同仁醫院

電話番號七八

大連市監部通二丁目五百二十五番地 高野孟矩法律事務所

五金銀行前

辨護士 高野孟矩

辨護士 戸口茂里

出張所 金州城門内北外

文房具類

盛 商 行

雜品一切 ● 洋服附屬品

…

…追花新着

…友洋行

電一五四

告

…第九六二番戸

九六三番戸

…テル跡ヘ移轉

…田工務所

…店停車場渡一万斤三十…

…十圓五十圓の三種あり

…品各識アリ

…店（距停車場東一清里）

泰東公司出張所

…元神廟街

泰東公司

新築落成

愈開業致候に就而は極めて純粹なる旅館として設備待遇等萬般に渉り出來得る限り勉強可仕候間何卒特別の御最負偏に奉希上候

專業 御旅館

營口新市街南本町

清林館

電話參百○壹番

建築用諸金物　鐵道用ピーダ　鶴嘴ショベル　石工煉瓦左官ブ　亞鉛板洋釘　亞鉛線スコップ　ボールト及カスガイ　鐵工鍛工具

新式獵銃及附屬品　新式拳銃各種

營口永世街

寶圓洋行

電話三二壹番

塗込暖室爐各種　金庫カン〱各種

ハンドボール　士工及鑛山工具　大工道具諸金物　一分間湯沸器　アサヒビール　カーネションクリーム　各樣雅扇發賣　ジョレン鋤鍬

高等旅館

磐城ホテル

大連市磐城町（電話一六七）

澤龜

アサヒ　サッポロ　ビール

食料品

洋酒

大連　支店

宅

支那料理 攬勝園

大連市若狹町

雜貨各種　彩票各種

營口西北街

裕和盛

電話八一

鐵道貨物運送

煉瓦石各種廉價販賣

●當製造所ハ「ホフマン」式改良輪環窯「コルニシユ」式素地型成機械及新ナル素地乾燥室ヲ有シ滿洲ニ於ケル模範工場ニ候

●當製造所煉瓦石ノ外觀優美耐壓力强靱吸水量僅少ナルハ已ニ土木建築界大家技師各位ノ御賞讃ヲ蒙ル處ニ候

●當製造所は牛家屯驛ニ接近シ遼河岸ニ在ルヲ以テ鐵輸水運ノ兩便ヲ有シ候

販賣所

營口牛家屯（電話一四二）

營口元神廟街（電話一三五）

營口煉瓦製造所

泰東公司

營業廣告

弊社は從來の天鹽木材株式會社を改稱し明治三十九年九月百五十萬圓の資金を以て繼續し枕木挽材柚角板類等營業內地は勿論米國濠洲淸韓等に輸出致居候處時勢の進渉に伴ひ同年十二月を以て更に**六百萬円**に增資し益々業務の擴張を計り滿洲方面の需用にも應じ度今般當地に出張所を設け左記種目の營業開始致し專ら良材を撰び最も廉價に販賣致し廣く大方各位の御愛顧を蒙り度候間多少に不拘續々御注文被下度偏に奉願上候

大連市浪速町三丁目

小樽木材株式會社大連出張所

所長 野澤長次郎

本社 北海道小樽區入舟町畑壹番地

支店 上海 天津 出張所 東京 兵庫 大連

本社は挽材工場三ヶ所及事業所北海道全道を通じ二十餘ヶ所を有し居候間何程多數にても迅速御需用に應じ可申候

大連出張所營業種目

●板類各種　●槇樫類各種　●敷鴨居內則類各種　●エゾ松挽立材各種　●同柚角八尺以上三十一尺迄各種

●檜鹽地栓桂大角類六尺以上十八尺迄各種

追て以上の內檜栓桂據地は家具材料には尤も適し尙ほ長材及び長丸太は來る七月三四日頃着荷致し當所に於て挽立御注文にも應じ多數の御注文は特別割引の御相談に應じ可申候

高等雜貨

電話五番

關東公司

東都最新流行の

金製指環

ダイヤモンド入　ルビー入　サファイヤ入　眞珠入　其他寶石入、高彫、平打、印章指環等種々取揃之候

自五十圓至五百圓　自拾圓至六十圓　自拾圓至二十圓　自拾圓至三十圓

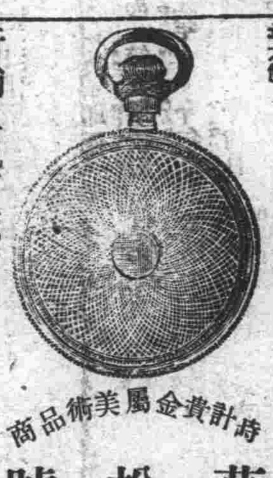
新輸入現下流行の

金側時計

紳士用 自五十圓至二百八十圓

婦人用 自二十五圓至百五十圓

御需求の各位は先づ弊店へ御來臨を乞ふ品質の精確さ品格の高尙さ價格の低廉は本舖の特色にして既に江湖の當確に任せらるゝ處に御座候



時計貴金屬美術品商

大連市大山通二丁目

萬松號

電話三六八

本店 東京大傳馬町

內科、產婦人科、眼科、外科、皮膚病梅毒科、秘尿生殖器科

院長 森 嫣

副院長 長船郁太郎

最新式鬱血療法（如何ナル腫物モ切開不要即効アル法）

齒科　醫長 高濃梓助

產婆 赤垣晴子

副院長歸省東京ニ於テ前記ノ法科專攻中ノ處今般歸營嶄新ナル治療ヲ施ス

森病院

高等旅館

鐵嶺西門外火神廟

松華ホテル

會席御料理

席貸並仕出し

鐵嶺西門外南へ入

今回元八千代館を引受け席貸會席御料理並に仕出し開店仕り萬事御叮嚀に取扱ひ仲居酌婦に至るまで悉く親切を旨とし高尙御手輕を主とし大勉强仕り候間永當〱御最負の程奉祈候かしく

菊水

土木、建築、測量、圖案

石炭、石材、石灰、煉瓦

今般新ニ熟練ノ技師數名ヲ招聘シ測量設計圖案等一般ノ高需ニ應ジ可申候

營口新市街 **飯塚工程局**（電話一六五）

仝 石炭置場（電話一八）

仝 鐵嶺西門外 **鐵嶺出張所**

仝 奉天小西門外 **奉天出張所**

仝 大連市信濃町二十號地（電話一六二）**大連出張所**

營口新市街花園町

御料理 日本館

營口新市街千代街

御旅館 日本館

電話百三十番

和洋ペンキボイル油ワニシ假漆テレメン塗料問屋

コールタ塗用刷毛　機械用礦油 ドウエイ油　テール ピッチ　ボテ 光明丹　馬油 鯨油　牛脂 ヘット 布紙ペーパ　繪具藥種 附屬品一式

大阪東區北久太郎町井池筋角

三木笑蚿館

電話東三五一三番

大阪東區西野田中江町

三木塗料製造所

理化學工藝部 電話西五五〇番

營口大石橋間

○旅客列車は本表に掲ぐる時刻により運轉すべけれ共止を得ざる故障の爲め遲延する場合もなきにあらず